場所　愛知県春日井市

面積　14.6ha

活動目的　「夢の広がる高森山の未来プラン」を作り、雑木林の里山づくり。常緑樹や雑木の除伐、下草刈りの整備を毎月実施、また、「高森山でツツジを見よう会」をはじめとする魅力創出イベントを実施。子どもたちが自然の中で学び遊ぶ、大人には健康と憩いの里山の実現に向けて活動中。



サイト概要　高森山公園は、愛知県春日井市高蔵寺ニュータウン内のまちの中にある自然豊かな特殊な都市公園（風致公園）。

16.7ha公園内の大半を占める高森山は標高206mあり、乾燥帯(日の当たる場所）や湿地帯があり、多種多様な生き物が生息。今迄調査したところ、５５０種（植物約300昆虫150その他100）以上も生息しており、生物多様性に貢献する場所である。豊かな自然を残し、誰もが利用しやすくするため、人と自然が共生できる里山に変えていく活動に注力中。

土地利用の変遷

高森山は、ニュータウン開発当時の約５０年前は山火事等でハゲ山だった。地元有志によるどんぐり作戦でアベマキ、シラカシ等のどんぐりやヤシャブシ等12千本植えたことにより自然は戻ったが、その後、放置され常緑樹等が7割近い暗い森になってしまった。2017年、鬱蒼とした高森山整備のため、当法人が主導し、部会「魅力ある高森山公園をつくる会」を設立し、公園緑地課とアダプト制度（清掃や維持管理等）を締結。

サイト周辺の環境

愛知県春日井市の自然が豊かな東部丘陵地域に位置する。申請サイト近くには、都市緑化植物園、少年自然の家、築水の森があり、西側山稜には、多くの住民に利用される東海自然歩道が通る弥勒山、大谷山、道樹山等が広がっている。

アピールポイント

2017年に整備を開始以来、6年間地道に実施した結果、散策路の周囲は大分歩きやすくなった。行政との連携でボランティアも受け入れ、また、毎年、「高森山でツツジを見よう会」等のイベントや小学生対象の自然環境学習会も開催し、知名度は高まっている。そのせいか休日などは、家族連れが自然に親しんでいる。多くの生き物が生息するので、主に会員を対象に年4回季節毎に観察会を行い、より深い知識を吸収している。

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

ニュータウンの住宅地の中にある公園ではあるが、乾燥帯（日が当たる場所）、北側斜面の湿地帯に別れ、それぞれに適応した動植物が生息している。調査した結果、550種以上の多種多様な動植物が確認されている。
高森山内には3ルートの散策路が設けられ、自然観察会の環境教育や近隣住民の憩いの場として活用されている。

【主な植生】

主な植生は次の通りで、いずれも自生のものである。
(1)乾燥帯：[落葉樹]ツツジ類・タカノツメ・ネジキ・リョウブ・ガマズミ類等。
[常緑樹]ヒサカキ・ソヨゴ・クロバイ・アラカシ等。
(2)湿地帯：ササユリ・ショウジョウバカマ・イチヤクソウ・シライトソウ等。

【確認された主な動植物など】

申請サイトでは約350種の植物、約200種の動物（いずれも在来種）が確認されている。特に昆虫類（蝶・蛾類等が多い）が150種以上と多くみられ、鳥類は35種、爬虫類、哺乳類は少ないが確認されている。主な種は以下のとおりである。
昆虫類：[蝶]タテハチョウ科、シジミチョウ科、アゲハチョウ科や蛾類が多い。
鳥類:　一般的な野鳥以外に珍しいものとして、トラツグミ、サンショウクイ、センダイムシクイ等が見られる。
爬虫類：トカゲ、カナヘビは、春から夏にかけてあちこちで見られる。ヘビ類は意外と少ない。
哺乳類：ニホンリスは以前はよく見ることができ、餌台も6ケ（クルミ等を供給）設けている。最近は少数故の近親かまた、野良猫が多いことも要因か見られない。赤外線カメラで確認したが、タヌキ、キツネ、ハクビシン等も見られる。



写真の説明：「ツツジを見よう会」（一般住民対象）



写真の説明：左餌を食すニホンリス／右ホンドタヌキ

生物多様性の価値

価値（6）希少な動植物種が生息生育している場あるいは生息生育している可能性が高い場

【場の概況】

高森山の北側は沢筋にあたり湿地帯となっている。日の当たる場所と比較的日が差し込まない半々の場所で、生育に適応した希少植物が確認されている。

【確認された希少種】

春日井市指定希少野生動植物種、環境省絶滅危惧Ⅱ類、、環境省準絶滅危惧種、愛知県準絶滅危惧種（NT）などに属する希少な植物が4種確認されている。

ほかにも特徴的な植物としてショウジョウバカマ（Helonias orientalis）・スズカカンアオイ（Asarum rigescens）・イチヤクソウ（Pyrola japonica）・シライトソウ（Chionographis japonica）等が生育している。

生物多様性の価値

価値（7）分布が限定されている、特異な環境へ依存するなど、その生態に特殊性のある種が生息生育している場又は生息生育の可能性が高い場

【場の概況】
サイト全体の中では比較的乾燥している一帯の中に、湿り気のある日陰の場所がある。

【確認された分布限定種、特異な環境へ依存する種】
希少かつ生態に特殊性のある植物１種が生育している。

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容	モニタリング計画の内容
＜活動目的＞ 地域住民等の憩いや自然環境教育、レクリエーションの場として、また地域の生物多様性の保全に貢献すること。植物、昆虫類（甲虫、蝶・蛾類等）、鳥類、爬虫類等を対象とする。 ＜活動内容＞ 申請区域を(1)乾燥地樹木草地帯　①東ゾーン　②西ゾーン　並びに　(2)湿地帯のある北側谷筋に分けて、上述の価値(4)、(6)、(7)の保全に貢献するよう以下の保全・利用活動を行う。 (1)の乾燥地：近隣住民の健康維持や憩いの場として利用（価値(4)）してもらうため、歩きやすいように散策路を広げる。毎年開催しているツツジを見よう会（約１00人参加）を一層充実させるため、現在約1000本のツツジ類を増やす。また、子供たちの自然環境学習会の場として、定期的に観察会を設ける。加えて、生物多様性のため、キノコ類が生えるようアカマツや落葉樹が増える里山づくりの除伐、下草刈り等の整備を　毎月行う。 (2)湿地帯：非公開エリアとし、希少植物の生息環境として保持する。また、湿地帯に適したビオトープを作り、環境に適応した水生昆虫等を育てる。そのため、心ないマニアに盗掘されないように散策路などは設けないようにする。 ＜実施体制、計画の点検・見直し＞ ＮＰＯ法人高蔵寺どんぐりｓのメンバーが中心となるが、メンバーが高齢化なので、協力会社高蔵寺まちづくり株式会社や都市整備機構（ＵＲ）及び社会貢献の意識が高い民間企業にも支援していただく予定。	**【モニタリング対象】** 植物、昆虫、鳥類のうち特定の種を対象とする。 **【モニタリング場所】** 申請区域内の乾燥地帯２ゾーン及び湿地地帯のうち、対象種が生息する場所。 **【モニタリング手法】** 昆虫、鳥類：ラインセンサス 植物：定点観察 **【モニタリングの実施時期及び頻度】** 昆虫、鳥類：ラインセンサス（1月及び7月、毎年実施） 植物：開花期（主に4～6月、毎年実施） **【モニタリング実施体制】** 当法人の会員が担当。